

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **安芸市** (都道府県: **高知県**)
 本事業の担当部局名 **安芸市企画調整課企画係**

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業			
区分	重点メニュー			
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組			
個別事業名	安芸市出会い・結婚応援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	令和4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	3,609,074			円
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 本市は、昭和35年から人口減少に転じており、平成7年には約200人であった出生数が、令和3年には74人と大幅に減少している。さらに、20~40代の人口は平成17年の4,329人から令和2年には4,223人へと減少しており、今後においても、大幅な出生数の増加は見込めない状況となっている。 本市では、人口減少の要因の一つである少子化の解消に向け、出生率向上を目的とした有効な施策展開を行うため、平成30年度に高知県立大学と連携し、本市における少子化の現状や要因分析のほか、取組に対する学術的な検証を行った。その結果報告においては、指摘事項として、庁内関連部署間における連携不足が挙げられており、部署の垣根を越えた連携体制構築の必要性が高まったことから、令和3年6月、全庁横断的な少子化対策の検討機関として、「安芸市少子化対策プロジェクトチーム」を設置したところである。</p> <p><本個別事業の位置付け> 同プロジェクトチームは、令和3年度から地域の実情に合った少子化対策の検討を開始したが、その検討過程において、本市の出生数と婚姻数の推移には強い相関関係が見られたことから、従来の子育て支援の取組と並行して、これまで主体的に実施してこなかった出会い・結婚支援対策に取り組む必要があるとの結論に至った。 本事業は、安芸市まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標の一つである、「若い世代が安心して、結婚、出産、子育てができるまちをつくる」に該当し、出会いや結婚を望む男女に対して、多様な出会いの機会を提供することで、その希望が叶えられる社会を実現するための事業である。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) 市プロジェクトチームでの検討過程を経て、令和4年4月から、出会いや結婚支援分野の専門支援員となる「出逢いコンシェルジュ」を配置し、結婚や子育てに関する意識調査や地域における機運醸成に向けた取組を開始している。 また、同コンシェルジュが中心となり、市がこれまで主体的に実施してこなかった男女の出会いイベントを企画したところ、定員を上回る応募があり、イベント当日は延べ8組のカップリングが実現したところである。 しかしながら、イベントへの本市在住の参加者が少なく(16名中安芸市在住5名)、地域における出会い・結婚支援が不十分であることから、市民ニーズに対応した、より魅力的な出会いの場を創出することが求められている。</p> <p>(課題への対応) 引き続き、同コンシェルジュが主体的に取組を進めるとともに、令和5年度には外部から新たに婚活コーディネーターを招聘し、出会いを求める男女のニーズに対応した、多様な出会いの場創出を図る。 また、市広報紙やSNS等による周知のほか、子育て応援登録企業(県登録制度)を通じた市内に居住する従業員への呼び掛けなどにより、市内在住者の参加率向上を目指す。 合わせて、市内在住の参加者に対するインセンティブ(参加費の軽減等)の検討を行う。</p>			

	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
個別事業の内容 ※(注)3	1	安芸市出逢いコンシェルジュ事業	<p>前年度に引き続き、令和5年度においても、企画調整課内に出会い・結婚相談支援員となる「出逢いコンシェルジュ」(会計年度任用職員)を1名配置する。人数について、当面は正規職員が伴走する形で取組を進めることから、1名の配置とする。</p> <p>【業務内容】</p> <p>■ 出会いイベントの企画・開催・支援 出会いや結婚を希望する男女に対し、より参加しやすい出会いイベントを提供する。また、民間団体等が実施する出会いイベントへの参画及び情報共有を図る。</p> <p>■ 子育て応援団の募集 市内事業所に対し、県登録制度である「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」への登録を促す。</p> <p>■ マッチングサポーター等との連携 マッチングサポーターや婚活サポーターの人材発掘と定期的な情報交換など、より連携を密にした取組を進める。</p> <p>■ ニーズ調査の実施 市民や子育て応援団登録企業等を対象に、出会いや結婚に対する男女の意向調査を行い、課題整理と新たな施策の構築に取り組む。</p> <p>令和5年度においては、同コンシェルジュがより主体的に取組を進め、連携自治体との定期的な意見交換や情報共有(対面、オンライン)、イベント時の相互連携を図る。また、本市が実施する出会いイベントにおいては、前年度に引き続き、こうち出会いサポートセンターからのファミリーーター派遣やマッチングシステムを介した募集を行うほか、イベント参加者に対する同システム登録や連携自治体主催のイベント案内を積極的に実施する。 さらに、子育て応援団登録に向けた企業個別訪問や、婚活サポーター等との交流などを通じ、地域における出会いや結婚への機運醸成を図る。</p>		○
	2	出会いの場創出支援事業	<p>コロナ禍において人との出会いや交流の機会が減少している男女に対し、多様な出会いのきっかけ(イベント)を提供する。(下記3回を想定)</p> <p>① ゲームという共通する趣味をテーマとした、カップリングを第一目標としない対面イベント(定員男女各25名) ※バス車内で参加者同士の交流を図る企画を実施し、会場としての役割も兼ねる予定であるため、バス借り上げ費を計上。</p> <p>② 出会い・結婚分野の有識者による講演会やグループ交流などで構成する、市内の子育て応援団(事業所)の独身者を対象とした異業種交流対面イベント(定員50名)</p> <p>③ 婚活コーディネーターが参画し、司会を務めるオンライン出会いイベント(定員男女各10名)</p> <p>また、イベントと有機的に連携する取組として、以下の二点を実施する。</p> <p>■ イベント参加者には、こうち出会いサポートセンターのマッチングシステム体験キャンペーンを案内するほか、マッチングありの出会いイベントの紹介も行うなど、恋活や婚活につながる取組を併せて展開することで、結婚への意識醸成を図る。</p> <p>■ 出逢いコンシェルジュによる相談支援体制を構築し、きめ細かなサポートに努めることでイベント時の交流の活性化を図る。また、イベント後においても、必要に応じたフォローアップを行うことで、男女の交際や結婚を後押しする。</p> <p>なお、こうち出会いサポートセンターや子育て応援団登録企業と積極的に連携し、イベント企画から準備、運営補助のほか、参加者の確保などについての協力体制を構築する。</p>	○	○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和6年度以降においても、男女の多様な出会いの場創出に継続して取り組み、出会いや結婚を望む人の希望が叶えられる社会の実現を目指す。				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	平均初婚年齢(男性)	歳	30.7 (令和6年)	30.1 (令和元年)	
	平均初婚年齢(女性)	歳	27.5 (令和6年)	28.9 (令和元年)	
	合計特殊出生率		1.80 (令和6年)	1.44 (令和2年)	
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績		
	合計特殊出生率		1.44 (令和2年)		
	婚姻件数	件	47 (令和2年)		
	婚姻率		2.9 (令和2年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	取組1関連 (アウトプット)				
	対面による企業・団体への個別訪問数	社	10	5 (R4)	
	コンシェルジュの協働により実施したイベント数 (アウトカム)	回	2	1 (R4)	
	市民のコンシェルジュ事業に対する満足度	%	70	—	
	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた企業・団体数	社	10	5 (R4)	
	取組2関連 (アウトプット)				
	出会いイベントへの参加者	人	70	16 (R4)	
	イベント参加者のうち安芸市在住者の割合	%	50	37.5 (R4)	
	異業種交流イベント参加企業数	社	3	—	
	異業種交流イベント参加者数 (アウトカム)	人	50	—	
	イベント参加者の満足度	%	90	81.3 (R4)	
	連絡先交換マッチング延べ組数	組	20	8 (R4)	
	異業種交流セミナー参加従業員の満足度	%	60	—	
	他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>本事業は広域的な取組がより効果を高めるため、県及び近隣市町村と連携して実施する。具体的には、以下の方法とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングシステムの登録や閲覧ができる、広域的な出張登録閲覧会を開催する。 ・婚活サポーター及びマッチングサポーターが活用できる相談者同士のお引合わせ会場を発掘する。 ・婚活サポーター及びマッチングサポーターの養成講座について、県の取組を広域的に周知する。 ・地域の特色を活かしたイベントを開催し、参加者に対し、マッチングシステムの体験登録キャンペーンを案内する。 			
		<p>【自治体間連携により実施する事業】 高知県：高知県出会い・結婚支援事業 安芸市：安芸市出会いの場創出支援事業</p> <p>【自治体間連携により効果的・効率的になる内容】 ・マッチングシステムのキャンペーン広報、婚活サポーター及びマッチングサポーター養成講座の開催等、県の取組を市町村と共有し、管内での広報や、人材発掘、市町村独自のサポーター制度との連携を密にすることで県全体の結婚支援体制の強化を図る。 ・イベント実施の際は、市町村単独での広報のみならず、こうち出会いサポートセンターを通じ全県に広報することで広域的に出会いの機会を周知する。</p>			
	民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>本事業は、安芸市が主体となり事業を展開するが、民間事業者においては、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」として登録してもらい、本事業の周知及び広報PRに協力していただく。 また、出会いや結婚を希望する地域の独身者に対して、本市の取組についての積極的な情報発信を依頼する。</p>			